

# 児童図書研究室ニュース 2004.3.12

福島県立図書館 <http://www.library.fks.ed.jp>

No.49

## 「理想の公共図書館サービスのために」

2003年12月に出版された本書は、国際図書館連盟公共図書館分科会によりまとめられた「The Public Library Service: IFLA / UNESCO Guidelines for Development (2001)」の翻訳資料です。この資料から児童サービスに関する一部分を引用します。

### 3.4.2 子どもたちに対する図書館サービス

公共図書館は、広範囲にわたる資料を提供し多様な活動を展開することにより、子どもたちに対して、読書の喜びや知識と想像力にあふれる諸作品を見つけたときの興奮を実感する機会を提供する。子どもたちとその親には、図書館の上手な利用のしかた、そして印刷資料と電子メディアの利用に関するスキルをどのようにして身につけるかを教える必要がある。

公共図書館には、子どもたちが読書力を身につけるように支援し、本やその他のメディアの利用を推進する特別な責任がある。図書館は、ストーリーテリングや図書館が提供するサービスや資源に関連する活動のように、子どもたちを対象とする特別のイベントを行わなければならない。子どもたちは早い時期から図書館の利用を奨励されるべきである。というのは、そうすることによって、彼らが将来も図書館の利用者であり続けるだろうからである。多様な言語を話す国々においては、子どもたちのための本や視聴覚資料は、彼らの母国語のものが利用できるようにしなければならない。

『理想の公共図書館サービスのために IFLA/UNESCOガイドライン』国際図書館連盟公共図書館分科会ワーキンググループ編  
山本順一訳 日本図書館協会 2003

## 報告「子どものためのスペース」

1月26日に立川市立中央図書館を会場に、第25回図書館建築研修会が標記のテーマで開催されました。講義内容の詳細な資料がありますので、希望の方は所蔵資料をご覧ください。概略は次のとおりです。

・すでに利用されている図書館の児童スペースの場合、見直しの観点としては、「子どもの目線で検証すること＝大人がひざをついて見る」ことです。サインが高すぎないか、平置きした絵本の表紙が見えるかなどで、既存の建物も利用しやすく変えることができるはずです。

・新しく建てる場合には、「図書館サービスの目的」によってレイアウトを考える必要があります。これからは、少子化や学校との連携などをふまえた検討が必要です。「児童部門は、児童が使うスペース」とは限らない

ので、家具などの選定の時にも、子どもと一緒に来館する親や先生、研究者等を視野に入れて考えましょう。

『子どものためのスペース』日本図書館協会・編刊 2004.1

## 報告「絵本と出会う」

2月27日にさいたま市で「親子ふれあいフォーラム 絵本と出会う in 埼玉」(全国保健センター連合会主催)が開催されました。「子どもの心の健やかな発達支援のために赤ちゃん時代から絵本に親しむ環境づくりを保健センターからスタートする」という活動の報告がありました。また、絵本を通じた親子のコミュニケーションと、保健センター、図書館、ボランティアなど地域のネットワーク構築について話し合いました。参考資料『平成14年度絵本と出会う・親子ふれあい事業報告書』では、小野町と船引町の事業が紹介されています。

## イベント・講習会 情報

### 平成16年度子どもの読書研究集会

「子どものための、子ども読書活動推進計画をめざして」

日時:2004年5月7日(金) 13:00～16:00

講師:坂部豪氏(日本図書館協会青少年委員会委員・水戸市立中央図書館)

会場:福島県立美術館講堂(県立図書館隣接)

問合先:福島県立図書館 企画管理部

TEL 024-535-3220

### いろのまほうつかい -エリック・カール絵本の世界-

期間:2004年3月7日(日)～30日(火)9:30～17:00

会場:国際子ども図書館 3階「ほんのミュージアム」

参考:<http://www.kodomo.go.jp/>

### 2004年度子どもの本を知るセミナー 絵本～昔話

日時:2004年5月～10月 第3水 10:30～12:30

会場:子どもの本研究所

### 2004年度児童サービス 理論と実践

日時:2004年5月～2005年3月 隔月第2土

13:30～16:40

会場:自由学園明日館

申込先:子どもの本研究所

〒359-1144 所沢市西所沢2-8-5

TEL & FAX 04-2926-6724(水・木 10-17時)

【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787

E-mail [kodomo@library.fks.ed.jp](mailto:kodomo@library.fks.ed.jp)

#### 1.3.4 子どもと青少年

「少年期の早い時期から読書習慣を身につけさせ、それを強化すること」(『IFLA/UNESCO 公共図書館宣言』)

公共図書館は、年齢や身体的、経済的、ないしは社会的状況にかかわらず、地域社会のすべてのグループが抱える情報ニーズを満足させるよう努めなければならない。しかしながら、公共図書館は、子どもたちと青少年の情報ニーズを満足させることについては、特別の責任を負っている。子どもたちが早い時期に知識のすばらしさに感激したり、想像力に富んだ作品に触れ感動したりするようなことがあれば、彼らは生涯を通じて、これらの人格的成長の基本的要素から利益を受けるであろうし、それによって彼らを豊かにし、社会への彼らの貢献を一層高めるであろう。また、図書館を利用する子どもたちは、両親やほかのおとなの図書館利用を促進することもできる。さらに、読書能力の獲得に困難をもつ青少年に対して、彼らに適切な資料を提供する図書か何を利用させるようにすることも大切である。

#### NEWS

「福島県子どもの読書活動推進計画 ～いのち輝く「小さな読書人」育成プラン～」が策定されました。

#### ・「本をひらけばたのしい世界」

日 時:2004 年 3 月 28 日(日) 10:00～17:30

会 場:ゲートシティ大崎地下1階

申込先:〒162-0828 新宿区袋町 6

JBBY 事務局「子どもの本の日」係

TEL 03-5228-0051 FAX 03-5228-0053